

もっと知ってほしい脳腫瘍のこと 2014in 東京

～がんを生きる「脳腫瘍治療の現状と希望の未来」～

日時：2014年7月26日（土）13:30～16:30

場所：秋葉原 UDX シアター

参加者：80名

7/26（土）に開催した市民公開講座でございますが、猛暑日のなか80名もの患者様、ご家族、医療・行政関係者にご参加頂き、また講演終了後の個別相談会には約20名と、盛況のうちに終了することができました。また、同日夜は近くで夏の風物詩、隅田川花火大会も開催されました。



1 講師・司会者 事前打ち合わせ

12:30にご登壇頂く先生方にお集まり頂き、当日のスケジュール確認などの打ち合わせを行いました。日本の医療や脳腫瘍の医薬品開発、患者様・ご家族サイドなどからの悩みなどをTOPICに、開演前から熱い議論が交わされました。



2 脳腫瘍を知る～脳腫瘍の概要：診断から緩和医療まで～

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 科長 成田 善孝 先生

脳腫瘍には様々な種類があり、治療法もそれぞれで異なります。術中MRIや手術ナビゲーションにより、迅速な診断が可能となり適切な治療に移行できるようになりました、また新薬（アバスチン）が承認され、治療の選択肢が増えたことなど、最新の医療内容について分かりやすく解説いただきました。また、脳腫瘍と診断されたら、どのように病気と向き合っていけばよいのか、目標を持ち決して諦めないことが重要であるというメッセージが参加者の皆さんに伝えられました。



3 脳腫瘍の放射線療法

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科 医長 角美奈子先生

脳腫瘍の治療において放射線療法はとても大事な治療法の一つです。患者さんごとに腫瘍の位置や大きさは異なり、どの範囲にどの位の線量を照射すれば、副作用がなく、効果を最大限に出せるのか、綿密に検討され治療計画が行われます。最近注目されてきているピンポイントで照射が可能な定位放射線療法や陽子線、重粒子線などの特徴についても解説していただきました。



4 脳腫瘍の薬物療法～臨床試験からワクチン両方まで～

久留米大学病院 脳神経外科 准教授 寺崎 瑞彦 先生

脳腫瘍を対象とした治療薬の世界における開発状況や国内における取り組み。また、がんペプチドワクチンの作用機序や腫瘍を攻撃する様子など、動画も用いて分かりやすくご説明いただきました。



5 Q&A トークセッション

ご講演いただいた3名の先生に加え、久留米大学がんワクチンセンター伊東恭悟先生、脳腫瘍ネットワーク加藤様、司会のがんセンターネットジャパン川上様の6名でQ&Aトークセッションが行われました。会場の参加者の皆さんの疑問に対し丁寧に回答され、また、活発な議論も行われ、脳腫瘍について、治療方法について、普段の生活習慣について、色々な角度からアプローチがあり、より理解が深まった形となりました。



なお、今回の市民公開講座「もっと知ってほしい脳腫瘍のこと」は映像収録しております。後日、インターネット上の「がんチャンネル」<http://www.cancerchannel.jp/> からご視聴いただくことができますので、是非ご覧ください。